

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さわやか愛の家くるめ館		
○保護者評価実施期間	2024年12月9日	~	2024/12/30
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2024年12月9日	~	2024/12/30
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月30日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	入浴の支援がある。	安全のために、2人介助を行っている。	さらなるバリアフリー化。
2	多職種が揃っている。	専門職による機能訓練等は、子どもたち一人ひとりに合ったサービス提供ができるようスケジュール管理を行っている。また、看護師が在中しており、体調管理や医療的ケアを行っている。	療育施設等へ訪問し、情報共有しながら支援を行っている。
3	子どもの状態を共有している。	送迎時やSNS等で保護者と情報共有を行っている。	日々の様子を言葉だけでなく写真を使用していく。

	事業所の弱み（※）だと思われるること ※事業所の課題や改善が必要だと思われるること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない。	地域施設との関係が十分ではない。	児童施設や高齢者施設とのイベントを企画し交流する。
2	保護者会や保護者間の交流の機会が少ない。	保護者が参加できるイベントの回数が少ない。	保護者などが参加できるイベントを企画していく。
3	専門職の知識や情報共有の不十分さ。	専門職の業務内容の理解が十分ではない。	送迎前に申し送りを行う。 専門職の分野の研修を行う。